

一般質問

政策研究会 代表質問



能勢 秋吉 議員

●災害対策について

Q 避難道路の決定は、地元の意見も聞かないで要望を出したようだが、その経緯はどうだったのか。

A 市長 地域審議会その他ので、さまざまな御意見もいただき、それを参考にしながら、国との折衝を中心に進めてきております。

Q 旭市では、区長会できちんと説明し、意見を聴取している。なぜ山武市はできないのか。

A 総務部長 国との調整の中で、該当する事業を優先的に絞り上げました。

今後作った計画について

では、パブリックコメント等でお知らせし、御意見を聞き、修正が加えられるべきだろうと思います。

Q 避難道路を自動車が走ることを予測するのなら、電柱の倒壊等は考えているのか。

A 総務部長 電柱から地中化への対応の必要性も考えているところですが、それだけの整備を計画へ位置づけるのはなかなか難しくなってきたと考えています。

Q 市単独で電線を道路に埋設するとしたら、どのくらいかかるのか。

A 市長 市街地の電線の埋設化もなかなかままならない状況で、避難道路の電線を埋設していくことは、非常に難しいと思います。

Q 山武市津波対策 100年計画として

いるが、なぜ100年計画なのか。

100年計画として

A 市長 10年、20年、50年後、恐らく記憶から消えていって、この位置づけも、どんどん低いものになってしまいうでしょう。しかし、津波避難道路1つにしても、整備は長くかかるため、記憶にとどめておかないといけないということですから後に100年引き継がれていかなければならないという思いを込めて、100年計画という名前をつけました。

Q 職員に防災士資格制度を奨励してはどうか。

A 総務部長 今後、計画的に職員の育成にも取り組んでいきたいと考えています。

Q 保護者が園児をこども園に送迎する時間帯は、ほぼ同じころに

なると思われ、周辺の道路は大変混雑が見込まれる。しらはたこども園の現在の道路状態はどうか。

A 保健福祉部長 進入路については、市道として整備することが確認されています。

Q 都市建設部長 クラシクの部分につきましては、拡幅ができませんので、現在のしらはたこども園の駐車場の脇から富口井ノ内岡線に結び、新たに橋をかける予定です。

Q 山武地区のこども園化は検討されているのか。

A 教育部長 公立と私立のため、さまざまな問題を解決しなければなりません。来年度、保健福祉部に山武市の幼保あり方検討委員会を設け、色々の問題をクリアできるように検討をし、なるべく早い段階でこども園化していきたいと考えています。

Q プロポーザル・デザイン・ビルド方式の全体を通しての検証はどうか。

A 保健福祉部長 まず、工事の施工管理が十分行えないこと。②一体化されたサービスマン契約における利害矛盾の可能性があること。③意思決定が特定部門に集中することを防ぐため、相互間で抑制と均衡を保つ機能が働かないこと。これについては、NPO法人建設技術監査センターに業務委託することで、解決することができました。

Q デメリットはどうか。

A 保健福祉部長 計画前に想定したデメリットが①設計・施工一括契約のため、市の行政力では、設計の品質管理、

Q 負総額の3割くらいを地元企業に発注することだったかどうか。

A 保健福祉部長 山武市では、全体の直接本体工事費の約9%、郡内では、22%の活用の結果でありました。

Q 今後の入札方法は、どういう方法でいくのか。

A 市長 本庁舎整備工事でも行いましたが、どちらも設計・施工で発注した中で、大きな問題点が出てきたとは思っていませんので、かなりいい方法だと認識はさせていただきます。

プロポーザル・デザイン・ビルド方式で建設されたしらはたこども園



プロポーザル・デザイン・ビルド方式で建設されたしらはたこども園